

漁海況月報

令和6年3月26日
愛知県水産試験場 漁業生産研究所

1 海況

○ 黒潮流路

3月21日の人工衛星画像によると、黒潮は石廊崎沖北緯31度付近から石廊崎沖北緯34度付近を通過するA型流路となっている。

○ 渥美外海の状況

現在、渥美外海沖合は黒潮系暖水の波及が継続しているものの、3月上旬と比べて波及の勢いが弱まっている。沿岸部への波及もみられず、表層水温も3月上旬と比べて低下傾向にある。

○ 予想

現在、流路変動に影響する黒潮流量の指標となるトカラ海峡（名瀬ー西之表）の潮位差は低い水準で推移しており、現在の流路が継続する見込み。渥美外海への暖水波及は、潮岬沖の冷水渦が拡大傾向にあることから弱い傾向が継続する見込み。

(参考：潮位データを用いた黒潮モニタリング；<https://ovd.aori.u-tokyo.ac.jp/tides/time2.html>)



図1 海況の現況[2024年3月21日]

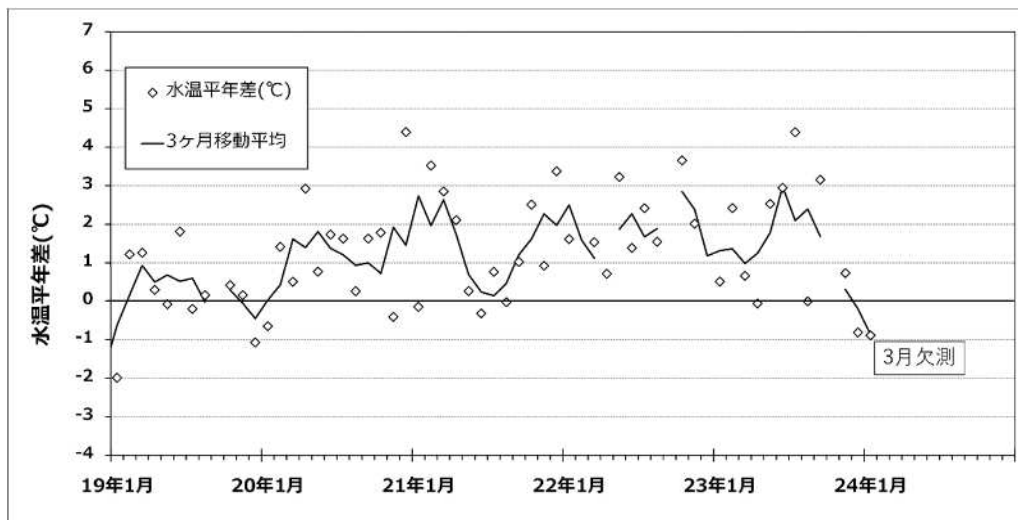


図2 沖合域の水温 (A4点、A12点、A19点の水深200mの平均)

2 イワシ類

(1) シラス

○シラス船びき網（7ヵ統以上）の出漁はない（2024年1月～3月26日時点）。

○春季に渥美外海に来遊するマイワシ、カタクチイワシ、ウルメイワシのシラスは、種ごとに来遊時期に違いがみられる。マイワシのシラスが早い年では3月下旬に来遊し、続いて水温の昇温に伴いカタクチイワシシラスが来遊し、種組成の主体となる。ウルメイワシシラスは、漁期を通じて少数（混獲程度に）来遊し、種組成の主体とはならない、という特徴がある。

○3月4日に渥美外海で実施した卵稚仔調査では、マイワシ及びカタクチイワシの卵及び仔魚は採集されなかった。現時点では来遊水準は低い（図4、5）。

○日本周辺漁海況情報（（一社）漁業情報サービスセンター）によると、マイワシ及びカタクチイワシの未成魚・成魚の漁獲量は、熊野灘及び潮岬以西で少なく、今年も西日本への産卵群の来遊は少ない。

3月の高知県のシラス漁獲量は、低調な昨年並みであり、紀伊水道でも昨年同様低調で、種組成はカタクチイワシに限られ、マイワシシラスは確認されていない。潮岬以西のカタクチシラスの来遊量は少なく、特にマイワシシラスは今のところ少ない。

カタクチシラスを食べるカツオの漁場は、3月中旬時点で東海海域沖に形成されておらず、熊野灘沖の黒潮内側域には形成されていない。

○以上から4月は主体となるマイワシシラスの来遊量は少なく、シラスのまとまった来遊は、昇温によりカタクチシラスが増加する4月下旬以降と考えられる。

一方、現在の黒潮の流路が継続すれば、近年の春シラス漁の不漁を招いている“漁場形成を阻害する遠州灘沿岸の強い東向きの流れ”が生じる可能性は低くなるため、黒潮系の暖水波及と共に来遊してくるシラスに今後期待したい。

【内湾のシラスの状況（参考）】

イカナゴ試験びき調査（3月15日）で、伊勢湾南部の①山海沖、②師崎沖で採集されたシラスはカタクチイワシ主体（重量比1～2%ウルメイワシ混じり）。カタクチイワシシラスの体長は、冬季シラスの特徴である大型の個体が多く、より湾口に近い②師崎沖の方が小型の個体が多い傾向にあった（図3）。

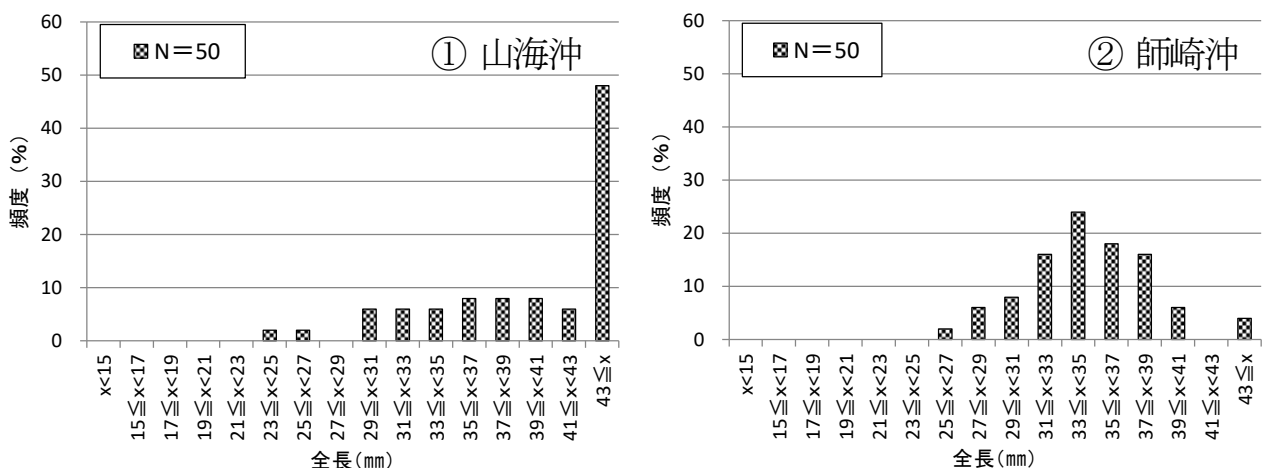


図3 カタクチイワシシラスの体長組成

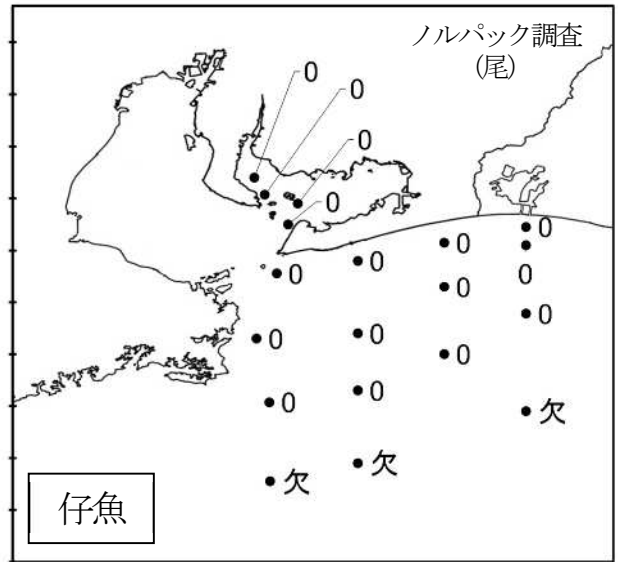
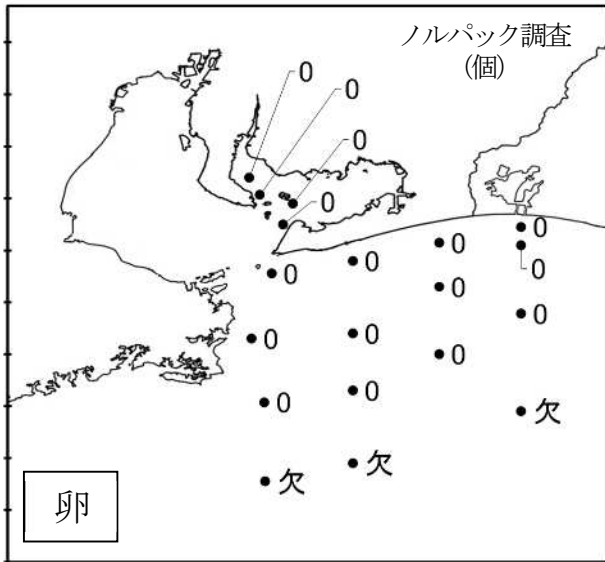


図4 マイワシの卵・仔魚の採集結果
(三河湾：3月8日、渥美外海：3月4日)

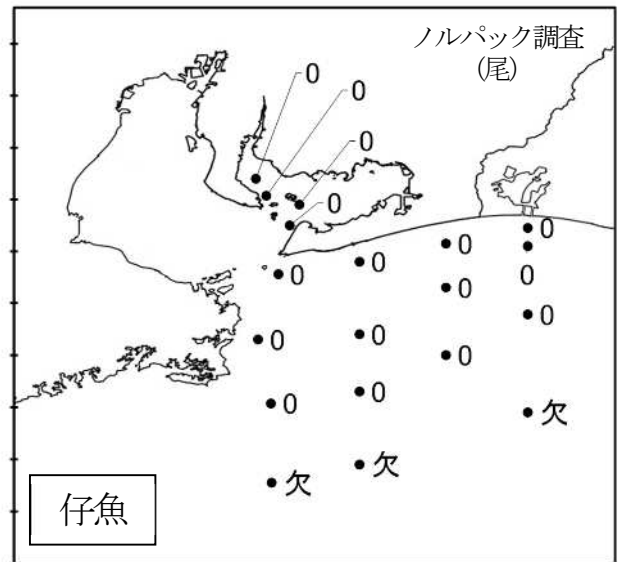
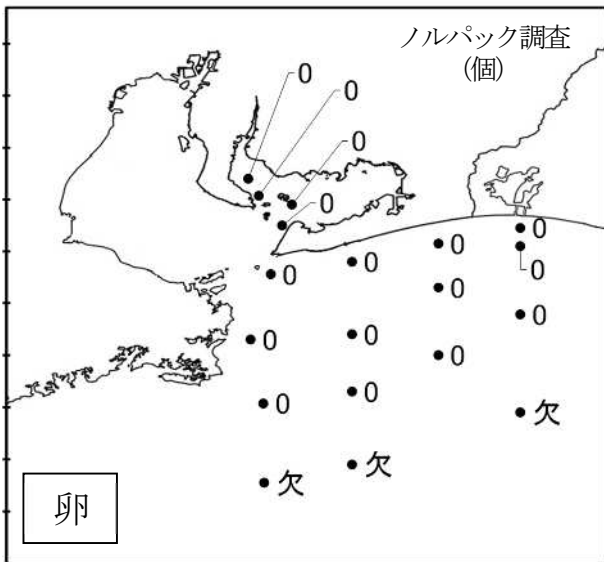


図5 カタクチイワシの卵・仔魚の採集結果
(三河湾：3月8日、渥美外海：3月4日)

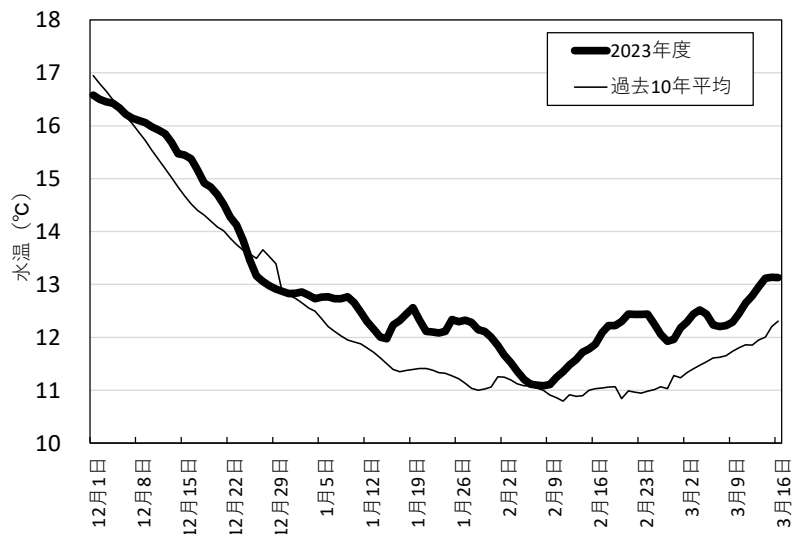


図6 伊勢湾南部の下層水温 (5日移動平均)

(2) マイワシ・カタクチイワシ (未成魚・成魚)

○ぱっち網は1月に2日出漁し、カタクチイワシを漁獲した。1月のカタクチイワシ漁獲量は160トンで過去10年平均(184トン)を下回った(表4)。マイワシの漁獲はなかった。

その後は、内湾のカタクチイワシ資源保護のため出漁は自粛している。

○例年、冬季のカタクチイワシは、水温低下に伴い外海へ移出するが、伊勢湾で操業する底びき網漁業者によると(2月時点)、今年は水温が高いためか、例年に比べ、魚群探知機にもカタクチイワシの反応がみられるとのことであった。

伊勢湾南部の中山水道航路観測機器(国土交通省伊勢湾環境データベース)の下層水温を見ると、1月以降平年をやや上回ることが確認された(図6)。

○イカナゴの試験びき調査(3月15日)時の魚群探索調査(師崎沖~三重県伊勢市大湊海岸沖)でも、カタクチイワシの反応が昨年よりも多く確認された。

試験びきでは2024年もイカナゴは採集されなかったが、カタクチイワシの小型の未成魚が採集された。体長組成から月齢別に分けると、4月齢(11月生まれ)、5月齢(10月生まれ)の個体が多いことがわかった(図7)。

2023年の11月、12月のシラス漁獲量は平年比1.8倍で、10~12月の3ヶ月で年間の半数以上を漁獲したほど、晩秋~冬季のシラスの生残状況(加入状況)が好調であった。3月現在の魚探に反応したカタクチイワシが、試験びきサンプルと同じサイズ組成であるならば、昨年のシラスが順調に生き残っている可能性が考えられる。

内湾シラスの漁獲量及びぱっち網の漁獲量増大のためにも、この小型魚を保護していくことが重要と考えられる。さらに、ぱっち網の本格操業前の4~6月の内湾のカタクチイワシ資源状況を注意深く見ていく必要がある。

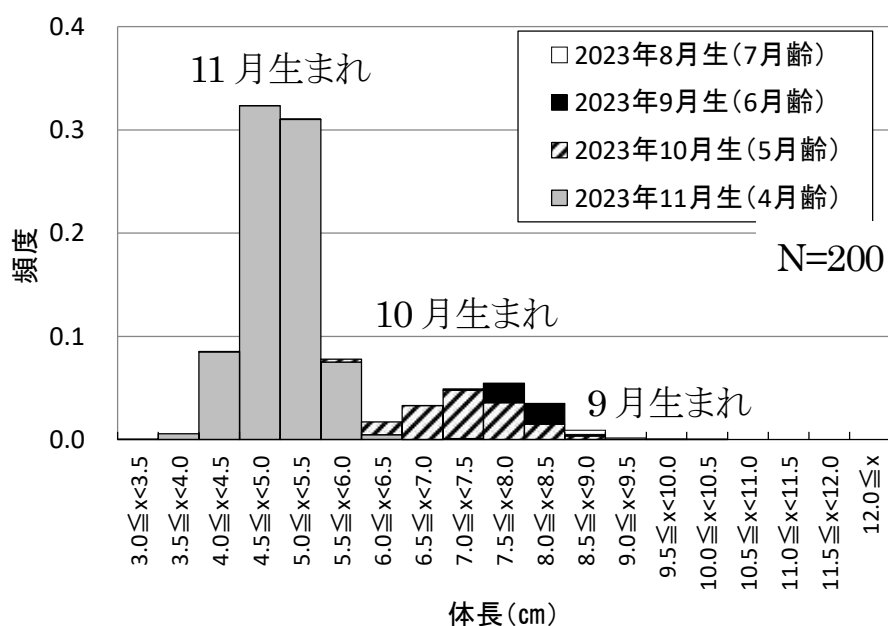


図7 カタクチイワシの月齢組成 (3月)

表1 渥美外海のカタクチイワシ卵採集数 (15点合計)

(個)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2017	欠測	0	2	208	14	147	178	11	4	0	0	0	564
2018	0	0	72	102	25	144	154	0	欠測	0	0	0	497
2019	0	0	62	39	57	29	97	58	54	0	0	0	396
2020	0	0	0	1	0	116	30	89	11	13	3	0	263
2021	0	0	24	46	25	186	88	25	17	0	0	0	411
2022	0	欠測	23	1	203	212	247	351	5	0	0	0	1,042
2023	0	0	0	1	3	82	130	12	89	欠測	5	0	322
2024	0	欠測	0										0
10年平均	0	0	104	153	68	107	118	68	48	25	1	1	686

表2 伊勢湾のカタクチイワシ卵採集数 (15点合計)

(個)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2017	-	-	-	0	17	29	215	494	2	1	1	-	759
2018	-	-	-	0	438	65	360	70	欠測	41	62	-	1,036
2019	-	-	-	0	70	2,518	2,593	627	52	37	118	-	6,015
2020	-	-	-	506	6,126	4,561	1,442	4,698	735	211	6	-	18,285
2021	-	-	-	2,985	1,227	2,258	1,765	2,607	746	212	25	-	11,825
2022	-	-	-	559	1,624	756	2,522	2,575	435	462	336	-	9,269
2023	-	-	-	0	132	3,256	2,004	5,798	1,216	欠測	29	-	12,435
2024	-	-	-										0
10年平均	-	-	-	406	1,166	1,506	1,241	1,985	385	184	174	-	6,991

表3 シラス類漁獲量

※3月26日時点

(トン)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2017	5	0	0	885	2,247	0	11	38	31	172	85	104	3,579
2018	0	0	97	957	1,917	9	66	379	553	797	295	660	5,730
2019	0	7	389	676	1,472	1,349	884	1,119	1,514	45	9	302	7,767
2020	0	10	219	428	658	1,629	590	1,933	131	493	148	492	6,731
2021	0	2	101	1,295	631	676	392	48	1,098	1,397	743	317	6,700
2022	0	1	3	253	1,150	831	9	407	82	158	4	335	3,232
2023	145	0	10	194	243	595	169	135	335	245	1,239	646	3,956
2024	4	1	11										16
10年平均	16	2	92	747	1,509	711	281	525	471	739	687	467	6,248

表4 カタクチイワシ漁獲量

※3月26日時点

(トン)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2017	15	21	62	23	194	3,039	2,659	1,725	1,038	340	583	346	10,045
2018	0.3	7	0	12	33	2,795	1,654	945	1,294	149	13	40	6,943
2019	172	38	32	2	0	1,339	4,128	1,692	1,432	2,564	803	515	12,717
2020	4	35	27	0	0	0	2,698	2,115	1,620	2,924	1,920	2,117	13,462
2021	302	48	0	0	0	0	691	1,062	719	766	1,674	1,593	6,853
2022	505	0	0	0	0	0	532	2,453	3,462	1,118	1,055	1,044	10,169
2023	81	0	0	0	0	13	1,501	3,691	574	1,310	895	883	8,949
2024	160	0	0										160
10年平均	184	37	14	82	135	1,628	2,994	2,208	1,882	1,293	1,068	875	12,400

表5 マイワシ漁獲量

※3月26日時点

(トン)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2017	0	0	0	0	181	1,380	6,258	5,153	4,497	5,445	3,311	1,888	28,114
2018	61	0	0	0	0	2,605	5,555	4,999	4,701	2,944	1,103	2	21,970
2019	210	40	4	0	0	1,311	2,634	3,886	1,417	152	256	7	9,917
2020	0	0	0	0	0	0	3,502	1,995	2,351	174	15	5	8,042
2021	0	0	0	0	0	0	6,128	4,125	3,476	703	35	5	14,471
2022	0	0	0	0	0	0	2	1,666	179	791	52	0.15	2,690
2023	0	0	0	0	0	0	0	10	4,195	86	18	0	4,308
2024	0	0	0										0
10年平均	42	12	0	0	23	596	2,661	3,074	2,877	1,759	800	333	12,177